

令和8年度 危機管理室X方針について

■ 局区X方針とは

(概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

(目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

■ 危機管理室X方針について

(1) 課題数 全4件

| 課題領域 | Aレベル | Bレベル | Cレベル |
|------|---------|------|------|
| 課題数 | 2件 | 2件 | — |
| 政策分野 | 防災、安全安心 | 防災 | — |

Aレベル : 行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル : 政策的な変革課題 (Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組内容等

・課題A 客引き行為への対策 (資料1のP4)

- 小倉北区繁華街の悪質な客引きが、安全性・快適性や都市イメージを阻害している。
- 条例施行後も、依然として悪質な客引き行為が散見され、市民から「禁止区域拡大」の要望が上がっている。
- 実効性の高い客引き行為適正化の推進のため、令和8年度は以下の取組を行う。
 - ・ 巡視体制の強化(6名⇒10名)
 - ・ 禁止区域の拡大(鍛冶町・堺町・紺屋町を追加)
 - ・ AI監視カメラの設置と効果検証
 - ・ 連携強化(客引きゼロパートナーシップ北九州)

・課題B 新たな担い手の育成等による地域防災力の向上（資料1のP5）

- 大規模災害の経験が少ないことによる市民の防災意識の低さ（特に若い世代）が課題となっている。
- 自治会役員の方々など、地域の防災を担う人材の高齢化が進んでおり、次世代への継承が急務である。
- 若い世代への防災教育を通じた持続可能な防災体制の構築が重要であり、令和8年度は、以下の取組を行う。
 - ・ 小中学生・高校生・大学生までの教育段階に応じた防災知識の普及
 - ・ 学校と地域の連携による新たな担い手の仕組みづくり